

(令和7年10月16日時点)

荒川区学校施設建替え計画案に関する保護者説明会の実施状況
及び今後の対応について

内 容

1 日時・対象校・参加者数

	日時	対象校	参加者数
1	令和7年9月11日(木) 19時～19時45分	汐入小学校	73名
2	令和7年9月12日(金) 19時～20時40分	汐入東小学校	89名
3	令和7年9月16日(火) 19時～20時05分	第六日暮里小学校	51名
4	令和7年9月17日(水) 19時～21時05分	第六瑞光小学校	74名
5	令和7年9月18日(木) 19時～20時30分	瑞光小学校	122名

参加者数合計 409名

2 主なご意見

[○保護者ご意見 →教育委員会回答]

汐入小学校

- 汐入東小と汐入小とでは、汐入東小のほうが新しいが、そちらに統合しないのはなぜか。汐入東小を統合後の新校舎にすれば、プールに屋根もあるので、より望ましいのではないか。
- 今後の児童数を推計した結果、汐入東小の統合が必要と判断した。統合後の学校を汐入東小にすると学校まで遠くなる子どもが出てくる。汐入東小は当初から転用を想定した構造になっている。一方で、猛暑もあり、汐入小の子どもが汐入東小のプールに通うということも検討する必要がある。

汐入東小学校

- 通学区域を変えることで小規模化を鈍化させられるのではないか。現状でも規模が違うため、活動内容が違っている。すり合わせが必要なのではないか。
- 例えば現時点で均等に割っても、いずれ偏りができてしまう。そのため、通学区域の変更は慎重な判断が必要であり、最近では、再開発でのタワーマンションの場合のみ通学区域の変更を行っている。
- 教育活動は学習指導要領に基づいており、区全体で共通である。特色ある教育活動について、お互いの良さを生かしながら連携して実施していくことについて、今後、統合準備委員会などを設置して検討する。

- 子どもが減ってきている地域であるから、統合は仕方がないとも思う。ただ、建替え期間中に代替校舎を使う学校の児童は、自宅から距離のある場所に通うことになるが、どのように通うのか。他地域から多くの子どもが集まってくるため、交通安全上の不安がある。
- 区内の学校は敷地が狭く、居ながら工事ができない。スクールバスを想定しており、乗降場所や見守り、ルート設定など安全安心にできるよう、検討していく。
- 汐入東小の学校説明会（６月１４日に開催）の時点では話がなく、今のタイミングでの説明がとても残念である。もし、中学受験をする場合、６年生で校舎が変わることを懸念している。６年生で汐入小と一緒にになった時にクラスはどうなるのか。
- 説明会がこの時期になったことについてはお詫びする。
- クラスがどうなるかについては、皆様の声や子どもの様子を見ながら、子どもにできるだけ影響が出ないように取り組んでいく。

第六日暮里小学校

- 近隣に住んでいる。工事の時間帯等が気になる。また、建替える校舎は何階建てか。
- 一般的に、朝８時から夜６時で、休日や祝日はお休みである。地下３階程度、地上７階程度を想定している。工事期間は５年を想定している。事前に家屋調査等もしっかり行い、安全対策を充分にとったうえで、工事を実施していく。
- 小中一貫校にしないといけない理由は何か。六日小の子どもは、諏訪台中も第四中も近い。敷地が狭いのにな小中一貫校となると、窮屈になることを懸念している。
- 日暮里地区には中学校が諏訪台中の１校のみである。また、諏訪台中、第四中ともに、今後、西日暮里駅前や三河島北の再開発の影響を考慮すると、既存の校舎では、確保できる教室数が不足又は空き教室が発生しない見込みである。六日小は築６０年が経過しているため、新設の中学校とともに、小中一貫校として建て直し、教育的にも充実させていく。六日小の基本構想検討時には、保護者、地域、学校の声を反映させながら検討していく。

第六瑞光小学校

- 過去の適正配置の議論と、今回の計画を比べた時に、過去は専門の審議会が開催されていたが、今回は非常に短期間ではないか。
- 過去に適正配置審議会で議論してきたことは承知しており、今回は過去の審議会等の検討結果を踏まえての計画である。
- 建替えと適正配置を同時に行う理由は何か。
- 老朽化により、計画的に多数の学校を建替える必要がある。その中で、教育の質の向上を図るため、適正配置や小中一貫校、特別支援教育の充実などを合わせて検討してきた。
- インクルーシブ教育の専門家の意見を聞いて決めたのか。
- 特別支援教育、インクルーシブ教育は今後の教育の柱と考えている。いかに継承していくかを検討する。

○これまでの検討期間と住民への公開は。

→R2.7 に長寿命化計画を策定した。その後様々な基礎調査を実施し、R6.7 から庁内検討委員会、R6.11 から学識経験者でもある教育委員の意見を聞き、R6.12 に文教・子育て支援委員会で中間報告の1回目を行った。その後、さらに検討を進め、R7.7 に、具体的なロードマップ案などを含めた中間報告の2回目を行ったものである。

○瑞光小との統合で500人規模になる。学級数が多くなると不登校の児童が増える。六瑞小は、他の学校に行きにくい子どもの居場所である。

→大切なのは、居場所づくりと絆づくりである。絆は少人数であると作りやすい。六瑞小の取組をどの学校でもできるようにする必要がある。個別の相談ができ、安心できる居場所となるような学校づくりをしていく。

○小規模校のデメリットは、六瑞小の実態とあっていないと思う。大規模校でなじめなかった子どもを受け入れる学校である。文化や校風、縦割り、血の通った関係など良い面があり、簡単に切り捨てるのはどうかと思う。この案を聞いて、来年度の入学数が極端に減ることについて、対策は考えているか。

→メリットとデメリットは大きく見た視点である。六瑞小では、縦割り、運動会、朝の会、道徳、金管マーチングバンドなど、様々な場面で特別支援学級の子どもも一緒に活動している。伝統・文化を大切にすべきについては同意見である。今後学校や保護者と話し合いながら、六瑞小のメリットを最大限に生かせるよう検討する。

→人数が少なくなった場合の対策についても、教育活動の充実や近隣校との交流などを含め、しっかりと検討する。

瑞光小学校

○代替校舎が汐入東小となっており、通学するのに遠いが、他の選択肢はないのか。また、六瑞小と三峽小を統合し、空いた用地を代替校舎にすることはできないか。もしくは、早めに既存の瑞光小の校舎に六瑞小を統合し、その後、六瑞小の敷地に統合後の学校の代替校舎は建てられないのか。教室数的にはできるのではないか。

→六瑞小と三峽小を統合できないかという提案だが、地区が異なり、大通りを渡るなど課題が多く、難しいと判断した。また、六瑞小の閉校は大きな問題であり、前倒しは考えていない。さらに、瑞光小と六瑞小の統合後は、普通学級に加えて特別支援学級も設置される予定である。現在の瑞光小の校舎や、六瑞小に設置予定の代替校舎には、統合後の教室数は確保ができないため、汐入東小を使うことを想定している。

○にこにこすくーるを利用しているが、帰宅が遅くなる。学童クラブに変更したいができるのか。優先的な取り扱いなどはないのか。

→自宅近くの乗降場所、遅くなった際の見守りなど様々なことを検討していく。また、学童クラブへの変更などについては、所管である児童青少年課にご意見を伝え、連携して取り組む。

	○ 汐入東小へはスクールバスで通うとのことだが、遅刻や早退、保護者の利用などはどのようにするのか。また、六瑞小の金管マーチングバンドや特別支援学級は瑞光小で継続するのか。 → スクールバスは、遅刻や早退を考慮し日中も巡回することを想定している。また、保護者も利用可能とする考えである。 → 金管マーチングバンドは瑞光小で実施できるように検討を進める。特別支援学級も瑞光小に設置する想定である。	
	3 今後の対応について ・ 区 HP にて、寄せられた主なご意見に対しての回答を QA 方式で公表する。また、計画案へのご意見受付フォームを開設する。 ・ 今後、南千住、荒川、町屋、尾久、日暮里の各地域へ説明し、ご意見を聞いたうえで、素案に反映する。 ・ さらに、統合等の可能性のある学校については、保護者、町会、学校評議員等にご意見を聞きながら、進めていく必要がある。 ・ このため、素案の報告は、当初予定していた令和 7 年 1 1 月から令和 8 年 8 月に変更し、保護者や地域の声を聞いたうえで、地域での合意形成に一定の時間をかけ、丁寧に進めていく。	
今 後 の 予 定	令和 7 年 1 0 月下旬 1 0 月 ~ 令和 8 年 6 月 令和 8 年 8 月 9 月 1 1 月	児童生徒へのアンケート 地域での説明 統合等の対象校地域での説明 総合教育会議 文教・子育て支援委員会で素案の報告 パブリックコメントの実施 文教・子育て支援委員会でパブリックコメントの結果及び計画の報告 学校施設建替え計画策定

< 主管部課 > 教育委員会事務局教育施設課